

# INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL  
**64**

2021

## 新体制始動 若き医療人とともにコロナ禍に挑む



DOCTOR'S VOICE 01 専門性の高い特定医療行為を実践できる看護師の育成及び役割拡大

DOCTOR'S VOICE 02 患者さんやご家族に向き合い、高度な認知症医療を提供

DOCTOR'S VOICE 03 地域での教育・研究・診療で、地域への還元と医療の発展に寄与

## 看護師特定行為研修紹介 専門性の高い特定医療行為を実践できる看護師の育成及び役割拡大

副病院長（医療安全・危機管理担当） 萬家俊博 看護部長 久保 幸 副看護部長（教育担当） 村上しおり

当院では高度急性期医療および地域医療の現場でチーム医療を推進し、医療安全に配慮して特定行為を実施する看護師を育成するため、看護師特定行為研修を開始しました（令和2年10月研修開始）。愛媛県初の研修機関として、現在も研修中です。

### 看護師特定行為研修とは

看護師特定行為研修は看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修です。研修を受けることにより、患者さんの状態を見極め、タイムリーな対応をすること等が期待されます。現在当院では、愛媛県内5つの医療機関から5人の看護師を迎え研修中。10月1日の開講式では萬家副病院長から「自身の勤務環境に合わせながら受講し、技術を習得してほしい」、久保看護部長から「1期生として、お互いが高め合いながら研修に取り組んでほしい」と激励のメッセージがありました。県外施設のみの研修だったものが当院ができるようになり、県内看護師の応募が増えることが期待されます。

### eラーニングによる共通科目と区別研修

研修では、基礎的な学習を行う共通科目を終えた後、各自が専門性を高めたい分野の特定行為区分別の研修を行います。当院では、21個ある特定行為区分のうち、4区分の実施が予定されています。

昨年の秋から、共通科目〔臨床病態生理学30時間、臨床推論45時間、フィジカルアセスメント45時間、臨床薬学45時間、疾病・臨床病態概論40時間、医療安全学／特定行為実践45時間〕が始まり、この春に終わります。共通科目ではeラーニングを活用し、仕事をしながら授業を受けることができます。続いて、専門性の高い特定行為区分の研修に移り、当院では4区分の研修〔呼吸器（気道確保に係るもの）関連10時間、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連30時間、創傷管理関連35時間、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連17時間〕の実施が予定されています。トレーニングや実地研修を通して、より専門性の高い技術を身に着けることが期待されます。

当院は大学病院ですので、研修の指導に関わる先生の数も



### PROFILE

- 写真右／くばさち○1983年4月入職、看護師長、副看護部長を経て2017年4月から現職。日本看護協会認定看護管理者。
- 写真中央／よろずやとひろ○2015年4月から麻酔・周産期学講座教授、2019年4月から現職。専門は高性能シミュレーターを駆使した実践的医学教育。
- 写真左／むらかみしおり○1989年入職、2010年より看護師長、2017年より現職。

多く、シミュレーターなど機器や設備も整っています。たくさんの先生やスタッフで協力体制を組んで研修に臨んでいます。研修は受講すればいいというわけではなく、筆記試験・実習中の観察評価・実技試験があります。1期生5名が無事修了できるよう、当院全体で支えています。

### 研修生の継続的なサポート

1期生を次に繋げていくためには、研修修了後のフォローアップも大事です。特に1期生は内外から注目される立場です。もちろん研修後もアンケート調査やフォローをしっかりと行い、1期生の経験を2期生以降に繋げていきます。愛媛県も日本看護協会も受講料の助成をし、後押ししてくれています。今夏には2期生の募集が始まります。県内からたくさんの応募があることを期待し、その期待に応える内容にしていきたいと考えています。



共通科目「疾病・臨床病態概論」の演習風景



## 認知症疾患医療センター紹介

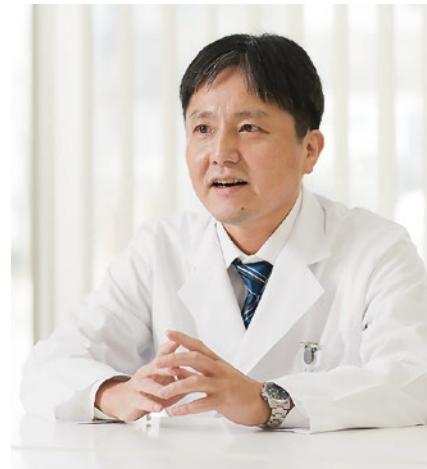
## 患者さんやご家族に向き合い、高度な認知症医療を提供

認知症疾患医療センター センター長

森 崇明

認知症というのは状態を指す言葉で、もとになる病気は様々です。中でも、アルツハイマー型認知症が一番有名で、患者さんの数も最も多いです。治療も日進月歩で、アルツハイマー型認知症には、コリンエステラーゼ阻害薬と抗NMDA受容体拮抗薬の使用で記憶障害といった症状の進行を遅らせることができます。また、適度な運動や日中の活動の向上・維持も認知症治療に役立ちます。

センターが開設されてから8年が経ちました。この期間、患者さんやご家族の変化を感じます。「認知症」という言葉の浸透とともに情報や治療に対する考え方も広まり、早い段階で診療に来られる患者さんが増えました。当院には専門スタッフと十分な設備により高度な医療を提供できる体制が整っています。また様々な診療科との連携により、他の身体疾患を抱えている場合も対応できます。新型コロナウイルス感染症の流行により、初診の患者さんの数が減少傾向にありますが、当院ではしっかりと感染対策を行っています。認知症においても早期発見・早期治療は重要ですので、受診を控えることなくお越しいただきたいと思います。



## PROFILE

もりたかあき◎2000年3月愛媛大学医学部を卒業、2006年に愛媛大学大学院卒業。2012年11月より当院にて講師を務める。2020年4月より現職。専門は老年精神医学、認知症学。最近の趣味は週末に子どもと公園で遊ぶこと。

## 寄附講座「地域低侵襲消化器医療学講座」の設置

## 地域での教育・研究・診療で、地域への還元と医療の発展に寄与

地域低侵襲消化器医療学講座 准教授

石丸 啓

本講座は伊方町からの寄附講座として、教育・研究・診療を行います。消化器外科学に関する教育と以下の4点の研究を行うとともに、サテライトセンターである伊方町・瀬戸診療所で医療資源の偏在に関する解決策も示していきます。研究内容は、①早期発見・早期の低侵襲治療による包括的医療システム、②低侵襲消化器医療を軸とした消化器病に関する教育システム、③伊方町における特異性を考慮した効果的な医療支援・連携システム、④伊方町でのゲノム医療の開始とその効果に関する調査です。昨年夏から始まった講座は、半年が経ちました。大学での活動は順調にスタートを切りましたが、一方でサテライトセンターでの活動は新型コロナウイルス感染症もあり、当初計画していたことはまだできていないという状況です。この状況が落ち着いていけば積極的に地域に入り、地域の方が求めるものに対して役立てる体制を追求します。地域には生活習慣病の方が多くみられます。予防のための健康講座なども行い、啓発活動にも取り組んでいきます。私の専門性を活かしながら、何かあったとき、すぐに相談できるような役割を目指します。遠慮なく診療所に来てください。



## PROFILE

いしまるけい◎1995年浜松医科大学卒業。2014年から愛媛大学大学院医学系研究科消化管・腫瘍学講座に着任。2020年8月より新講座開設。専門は、消化器外科、一般外科、内視鏡外科。消化器、特に消化管を中心診察。

# 愛媛大学医学部附属病院 トピックス

お気軽にご相談ください

## 患者用駐車場・多目的棟のオープニングセレモニーを開催



久保幸副病院長等の当院関係者と、一般財団法人愛信会より越智郁夫理事長、株式会社AINFARMASIESより淡路英広専務取締役が列席し、施設動画の視聴や実際の施設見学を行いました。多目的棟にはリハビリテーション部が移転

令和3年3月12日（金）、多目的棟にて「患者用駐車場・多目的棟のオープニングセレモニー」を行いました。セレモニーには、三浦裕正病院長、山下政克医学系研究科長、杉山隆副病院長、

し、薬局やコンビニなども開店しています。また、患者用駐車場も拡充し、患者さんや地域の皆様が利用しやすい充実した施設を目指します。ぜひご利用ください。

総務課総務チーム ☎089-960-5125

## 大規模災害の発生を想定した災害訓練を実施



令和3年2月19日（金）、南海トラフ巨大地震を想定した大規模災害訓練を実施し、新型コロナウイルス感染症対策に配慮の上、災害拠点病院に指定されている当院の機能強化と実施体制の確認・検証を行いました。訓練では、東温市消防署と連携し、はしご車による避難や火災の際の消火など実践的な訓練を行いました。当院ではこれからも、更なる機能強化を図ります。

総務課総務チーム ☎089-960-5125

## エイズネットワーク会議を開催

令和3年2月17日（水）、県内のエイズ診療体制の充実を図ることを目的とし、県内エイズ診療病院の医療従事者などが出席しました。本会議は、県内の現状報告や、香川大学医学部の窪田良次教授から香川県内のエイズ診療の講演があり、参加者の理解を深めました。

総務課企画・広報チーム ☎089-960-5225

## 連携病院長会議を開催

令和3年2月27日（土）、当院と県内外の医療機関が医療連携や情報共有をすることを目的とした第33回愛媛大学医学部連携病院長会議を開催しました。総会では島田志帆医療教育課企画官（文部科学省）からの講演があり、今後の医療政策の方向性に関するトピックスなどを話しました。

総務課企画・広報チーム ☎089-960-5225

## ヘルスアカデミーを期間限定で配信

一般市民の皆様に健康への理解を深めてもらうことを目的として開催しているヘルスアカデミーが、動画配信サイトにて期間限定で配信中です。  
<https://youtu.be/qbY-JKQmlKk> (~ 5/31 (月)まで)



## 医学部及び附属病院のインスタグラムを開設

この度、情報発信を目的としてインスタグラムを開設いたしました。最新の情報を発信するよう努めて参ります。

[https://www.instagram.com/ehimeuniv\\_med\\_hosp/](https://www.instagram.com/ehimeuniv_med_hosp/)



EHIMEUNIV\_MED\_HOSP

## 編集後記

新緑の候、当院では多くの新人を迎え、研修医、看護師などの医療職とともに、杉山新病院長と写真撮影を行いました。今年度も感染症対策に奔走しつつ、本号では看護師特定行為研修、新センター長、新寄附講座設置、多目的棟完成などをご紹介しております。ぜひご一読ください。

広報委員会委員長 熊木天児

◎表紙  
病院長 杉山 隆  
看護部長 久保 幸  
総合臨床研修センター長 熊木天児  
研修医 新人看護師



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川454 ☎089-964-5111(代)  
ホームページ <https://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>

